

報道関係者各位

スマホ時代の疲れ目を救え！

眼鏡市場がスマホ快適レンズ「アイリラックス」を発売。

株式会社メガネトップ（本社:静岡市葵区、代表取締役社長:富澤昌宏）が展開する眼鏡市場は、スマホ快適レンズ「アイリラックス」の発売を12月4日（水）より開始いたします。それに伴い、新TVCM「アイリラックス篇」も全国エリアにて同日放送開始いたします。

スマホ快適レンズ「アイリラックス」は、レンズ構造がスマホなど近くを見る際の目のピント調節を助ける設計になっているため、目の緊張状態を和らげ、目の疲れを軽減することを目的としています。アイリラックスは、20代からのR20と、50代からのR50があり、スマホを使うあらゆる世代を対象にしたレンズとなっています。

スマホ(快)(適)レンズ アイリラックス

20代からの

50代からの

R20 R50



| スマホ快適レンズ「アイリラックス」

現代人の目に危機が迫っています。原因は、スマホやPCによる目の疲れ。その対策といえば、液晶画面が発するブルーライトをカットすることがこれまでは一般的でした。

今回、眼鏡市場が提案するのは、デジタル社会で近くを見る機会が増えた方のお悩みを解決するレンズ。メガネを作る場合、多くの方はよく見えるようにすることを考えて度数を決めます。

しかし、スマホを長時間見るということは、手元の近い距離を見つめていることが続くため、目には大きな負担がかかっているのです。

近くのものを見る時、眼球内でピントを合わせるため、水晶体を膨らます毛様体筋が働き、焦点を合わせます。これを続けることで、毛様体筋は緊張状態となって疲労が蓄積。結果、遠くを見るときにボヤけるということにつながります。

提案するレンズ「アイリラックス」は、毛様体筋の働きをサポートすることで緊張を和らげ、ピントを合わせる際の負担を減らすことを目指しました。

アイリラックスは、世代に合わせて2種類を展開。

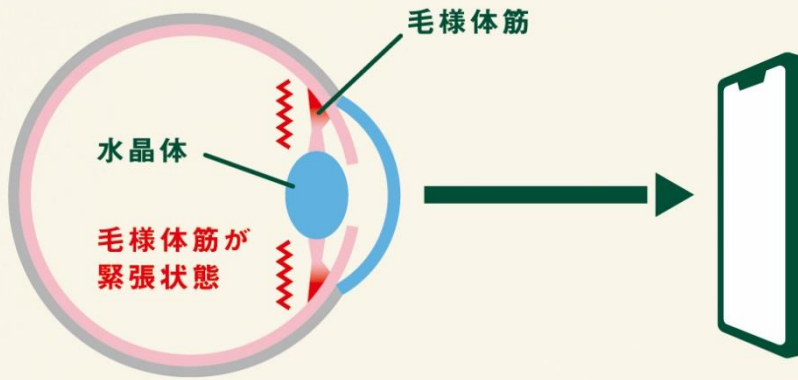
20代からのR20：レンズ内の度を徐々に変化させ、レンズ下部は焦点を近くにすることで、近くを見るとき目の活動をサポートする設計。

50代からのR50：運転以外の日常生活空間が快適に見える設計。

目の悩みは、世代によって全く違います。近年はとくに、20代・30代がスマホやPCを見つめ続けることで目を酷使し、ピント調整力が低下する『スマホ老眼』が問題視されています。2種類のレンズをご用意することで、幅広い世代の悩みに応えていきます。

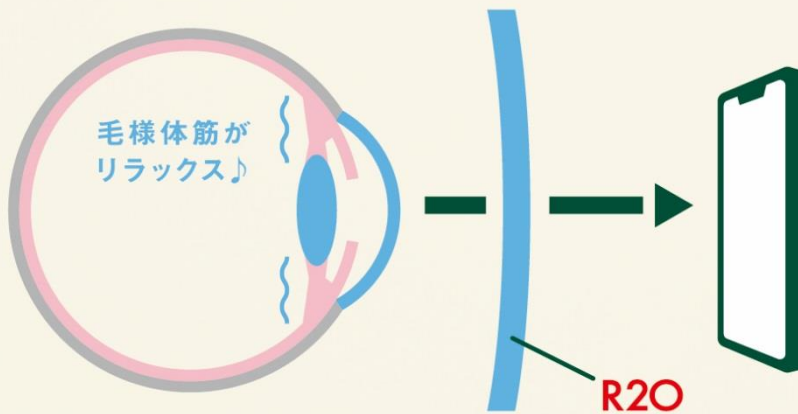
価格は、ブルーライトをカットする機能も付いて、メガネ一式価格に+4,400（税込）。

スマホを見るとき 目の疲れを軽減！



スマホを見るとき、毛様体筋は筋肉疲労を起こすため、目の疲れの原因になります。

アイリラックス **R20** を使うと



R20がスマホを見る際の毛様体筋をアシスト。※
目がリラックスした状態でスマホを見ることができます。
※ピントアシスト設計

スマホにも日常空間にも、
一本で自然な見え方に！

見え方比較



老眼鏡



遠近両用



アイリラックス R50

こんな方にオススメ

- スマホを長時間使用する方。
- 室内での仕事や生活が多い方。
- メガネの掛け外しが多い方。
- 遠近両用に不満をお持ちの方。



| TVCMストーリーボード (30秒)



NA)
眼鏡市場の
健康レンズ。



一日中
スマホを眺める
現代人の目は



想像以上に
疲れている。



そこで、
新提案！



スマホ快適レンズ

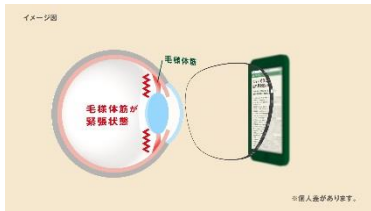
スマホ快適レンズ



スマホ快適レンズ

アイリラックス

アイリラックス



イメージ図

ピントの調節を
助けるレンズ構造が



イメージ図

目の緊張を
和らげるから



女性)
「すごいラク！」
男性)
「ハッキリ見える！」



NA)
スマホ対策は
ブルーライトの先へ



アイリラックス
お店で体験
してください



女性・男性)
「すごい！」



NA)
眼鏡市場

| TVCMストーリーボード (15秒)



NA)
スマホを使う



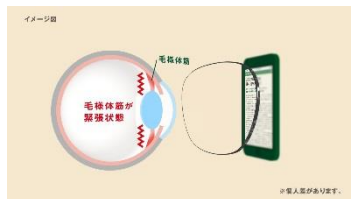
すべての人へ。



眼鏡市場の
スマホ快適レンズ



アイリラックス



ピントの調節を助け、
目の緊張を和らげます。



女性)
「わあー！」



男性)
「おおー！」



NA)
お店で体験!



眼鏡市場

会社概要

- 会社名 株式会社メガネトップ
- 設立 1980年5月
- 本社 静岡県静岡市葵区伝馬町8番地の6
- 資本金 1億円(2019年3月31日時点)
- 店舗数 969店舗(メガネトップグループ合計 / 2019年3月31日時点)